



渡良瀬遊水地でコウノトリのヒナが4年連続の巣立ち

渡良瀬遊水地で今年4月に誕生したコウノトリのヒナ2羽が、巣立ちました。

渡良瀬遊水地での野外繁殖によるコウノトリのヒナ誕生・巣立ちは、2020年に東日本で初めて確認(※)されて以降、4年連続となります。

(※)1971(昭和46)年に国内野生コウノトリが絶滅し、2005(平成17)年に兵庫県が野生復帰を開始して以降、東日本初。



巣立ち前の千歳の大ジャンプ (6/8)



ひかると千歳の元に飛んできた小白 (6/11)

(写真提供：わたらせ未来基金)

令和5年4月6日(推定)にふ化した2羽のコウノトリは、その後も順調に成長し、5月19日に、兵庫県立コウノトリの郷公園をはじめとするIPPM-OWS(コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル)加盟機関の協力により、個体識別のための足環装着及び検体採取が行われました。性別が確認されたヒナには、それぞれ「小白(メス)」と「千歳(メス)」という愛称が名付けられました。愛称は、遊水地周辺市町の小学校から募った候補名から、一般を対象にホームページからの投票により選ばれました。そして、観察者に見守られる中、6月8日9時54分頃に「小白」が、6月9日10時46分頃に「千歳」が、渡良瀬遊水地第2調節池に設置された人工巣塔から無事に巣立ちました。

巣立ちまでの経緯

| | |
|-------|--------------------------|
| 3月3日 | 産卵開始（推定） |
| 4月6日 | ふ化開始（推定） |
| 4月11日 | 2羽のヒナを確認 |
| 5月19日 | 個体識別のための足環装着及び検体採取 |
| 6月8日 | 「小白」（メス）が巣立ち（ふ化開始から64日目） |
| 6月9日 | 「千歳」（メス）が巣立ち（ふ化開始から65日目） |
| 6月11日 | 命名式でヒナの愛称を発表 |

※参考情報：小山市ホームページ「コウノトリ・トキの野生復帰」

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/site/wataraseyusuichi/list214-426.html>

ルールを守った見守りをお願いします！

観察マナーの徹底に、ご協力をよろしくお願いします。

- コウノトリを撮影・観察される際は、堤防上からお願いします。
- 渡良瀬遊水地第2調節池の小山市域では市条例によりドローン、ラジコン等無人航空機の飛行が禁止されています。
- 路肩など、通行の妨げになるような場所へは駐停車しないでください。

地域と多様な主体が協働・連携した取組

関東地方整備局では、2013年より「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」として、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の推進および地域振興・経済活性化方策に取り組み、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成によるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの実現を目指した活動を行っています。

4年連続でのコウノトリのヒナ誕生・巣立ちは、コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの実現に向けた多様な主体の協働・連携による取り組みの大きな成果のひとつです。協議会では2021年度に基本計画の見直しを行い、2030年度における中期目標の実現に向けた新たなスタートを切っています。

【関東地整 HP】 関東エコロジカル・ネットワーク

～コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して～

https://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000035.html